第4学年 音楽科 年間指導計画

目標

- (1) 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
- (3) 様々な音楽に親しむようにし、基礎的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽を味わって聴くようにする。

年間指導計画

	はじめの一歩	
	早口	
	さくら さくら	
	(鑑)さくら変そう曲	
		各パートの旋律の動きをとらえ、響きのある
7	ひびけ歌声	伸びやかな声で歌う。
	プパポ	いろいろな声の響きや特徴を味わい、ミュー
前	(鑑)「サウンドオブ	ジカルの音楽を楽しむ。
	ミュージック」から	
	· -	拍の流れにのり、旋律のまとまりを生かして
7	ひょうしとせんりつ	演奏する。
	エーデルワイス	行進曲のリズムや、2拍子の流れを感じ取っ
	(鑑)トルコ行進曲	て聴く。
	メリーさんの羊	拍子の違いを聞き取り、拍の流れにのって歌
	ラバースコンチェルト	ったり聴いたりする。
期	(鑑)メヌエット	
	まきばの朝	
		曲想をとらえ、旋律の感じに合った声や歌い
4	せんりつと音色	方を工夫する。
	ゆかいに歩けば	旋律の流れやフレーズを意識し、それぞれの
	とんび	楽曲の特徴やよさを生かして表現する。
	めざせ楽器名人	
		アンサンブルの音楽に親しみ、楽曲の構造や
7	かけ合いと重なり	特徴を理解する。
	(鑑)「水上の音楽」から	各声部の役割を生かし、聴き合いながら演奏
	アラ ホーンパイプ	することにより、楽曲への理解を深め、アンサ
	もみじ	ンブルの音楽を味わう。

日本のリズム・世界のリズム

我が国の音楽のリズムや旋律に親しみ、それらをもとに自分たちの表現を工夫する。

おはやしのリズムやせんりつで遊ぼう

ソーランぶし

(鑑)葛西ばやし(鑑)サムルノリ

(鑑)サンバの音楽 おどれサンバ いろいろな国の音楽に親しみ, リズムや楽器の特徴を感じ取る。

えんそうのくふう

ラ クンパルシータ ズンガリガリ 楽器やパートを選んで、楽曲に合った演奏を 工夫する。

期 | 音楽のききどころ

(鑑) ノルウェー舞曲 第2番

音楽を形づくっている要素を手がかりに、楽 曲の構造をつかみ、全体を味わって聴く。

気持ちを合わせて

こきょうの春 グッデー グッバイ 君が代 互いの音を聴き合い、音の重なりを楽しみ、 友達と表現の工夫をしながらアンサンブルを楽 しむ。

※ 上記の曲以外にも、歌唱やリコーダー教材を実態に即して取り入れていきます。

評価

後

- ★ 次のような方法を総合的に組み合わせて評価していきます。
 - 音楽への関心・意欲・態度

毎時間の授業で歌唱・楽器演奏・発言・学習プリント・準備物などから評価します。

○ 音楽的な感受や表現の工夫

歌やリコーダー演奏・合奏で、表現の方法を考え、演奏の仕方を工夫しているかを、授業での様子や演奏の発表などで評価します。

○ 表現の技能

個別の技能テストや演奏の発表などで評価します。

○ 鑑賞の能力

鑑賞の様子や身体表現、鑑賞後の感想、学習プリントへの記入などから評価します。

※ 学習プリント,歌・リコーダーの発表会,ペーパーテスト,学習の様子などで評価し、子ども達のやる気や指導に生かしていきます。